

## 第 182 回 学長定例記者会見

日時：令和 7 年 8 月 26 日（火）10：30～10：45

場所：メイン会場：広島大学東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室

サブ会場：広島大学霞キャンパス 臨床管理棟 3 階大会議室

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

### 【発表事項】

1. 広島大学野球場改修工事完了によるリニューアルセレモニーを開催  
(8/26 開催)
2. 新「広島大学弁当」を9月初旬に発売予定！  
広島大学ゆかりの食材や広島の名物が満載！

### 【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取り組みに関する報告
2. 広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター共催国際シンポジウム  
” Synthesizing ICONA activity and Future Directions for Climate Change (ICONA の活動の総括と気候変動への今後の展望)” を開催します  
(9/16 開催)
3. 学生が工学部の広報活動を行う「工学部学生広報ディレクター」が活動を開始
4. 9月13日（土）を「週末開放日」とし、両生類研究センター常設展示スペースを開放します。
5. 第 80 回日本物理学会年次大会（2025 年）市民科学講演会開催のお知らせ（9/21 開催）  
「宇宙から生命までを科学する～科学がもっと身近になる 1 日」

### ■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 7 年 9 月 29 日（月）

場所： 広島大学 霞キャンパス



令和 7 年 8 月 26 日

広島大学野球場改修工事完了による  
リニューアルセレモニーを開催（8/26 開催）

このたび進めてまいりました広島大学野球場の改修工事が無事完了したことをお知らせいたします。これを記念し、下記の日程でリニューアルセレモニーを開催いたします。

本野球場は、学生・教職員のスポーツ振興と交流の場として利用されてきました。今回の工事では、天然芝の張替え、防球ネットの張替え、外野擁壁および防護マット新設、スコアボード新設などを行い、安全性と利便性を大幅に向上させました。

## 《リニューアルセレモニー概要》

日 時：2025 年 8 月 26 日（火） 11:00～11:30 予定（少雨決行）

場 所：広島大学 東広島キャンパス内 野球場

スケジュール

## 【次第】

1. 開式の辞
2. 学長挨拶 学長 越智 光夫（おち みつお）
3. 来賓挨拶 広島大学体育会硬式野球部 OB 会  
会長 村井 研一（むらい けんいち）様
4. テープカット
- 5 始球式 投球者：坂田 桐子 副学長（学生支援・ダイバーシティ担当）
6. 閉式の辞

※本日の学長定例記者会見終了後、法人本部棟正面出入口（2階）より公用車にて、野球場までご案内いたしますので、正面出入口へお集まりください。



お問い合わせ先】

【お問い合わせ先】

教育室教育部学生生活支援グループ 川上 浩司

TEL:082-424-5794

MAIL: [gakusei-group@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:gakusei-group@office.hiroshima-u.ac.jp)

令和 7 年 8 月 26 日

## 新「広島大学弁当」発売 広島大学ゆかりの食材や広島の名物が満載

広島大学は 2024 年に創立 75 周年、最も古いルーツの白島学校創立から 150 周年を迎えることを記念し、2022 年に広島駅弁当(株)と「広島大学弁当」を開発し発売しました。

現役学生が広島大学ゆかりの食材について調査。越智学長と相談し、弁当として使用できる食材を選択し、広島らしい料理も加えました。販売期間中の 2 年 5 ヶ月で約 1 万 3 千個を販売しています。

150 周年行事の終了する 2025 年 3 月末で販売を終了しましたが、終了後も継続を望む声が多く、販売価格を 1,620 円（税込）から 1,500 円（税込）にお求めやすく値下げして発売をすることになりました。

また、内容についても一部リニューアル。以前から入っていた広島大学と(株)村上農園共同開発の「マルチビタミン B12 かいわれ」を使った「お浸し」、本学の海野徹也教授が所属する水産増殖学研究室、通称「うみの研」が研究するクロダイのムニエル、広島大学と食品分野に関する包括研究に取り組むオタフクソース(株)のお好みソースに加え、新たに広島大学と「赤しそ」の研究に長年取り組んでいる三島食品(株)の「赤しそご飯」、広島名物のもぐり寿司、デザートにはこちらも広島名物の柿羊羹を加え、その他、カキフライ、あなご飯など広島の名物が満載です。

掛紙には、イラストレーターのカミガキヒロフミ氏による広島大学東広島キャンパスを描いたイラスト「知のワンダーランド」をベースに、こちらもカミガキ氏による「フェニックスマーク」をあしらいました。

また、蓋を開けると、広島大学ゆかり食材の説明と広島大学の最新情報についてのチラシが同封されています。

大学内の行事、学会、同窓会等での利用を期待しています。

### ■商品概要

名称：広島大学弁当

価格：1,500 円（税込）

受注製造販売（事前予約）：9 月中予定→2 週間前のご予約で 50 個以上

一般販売：10 月 15 日予定 店舗販売は未定

→広島駅弁本社及び配達 4 日前注文の受注生産

購入方法：広島駅弁当 EC サイト (<https://www.s-ekibento.jp/>)

広島駅弁当営業部 で受注

## <お弁当内容>



## <掛紙>



## <チラシ（表）>



おしながき

|                               |                                      |                   |
|-------------------------------|--------------------------------------|-------------------|
| あなご飯                          | 出巻玉子<br>クロダイの<br>ムニエル<br>(100g/100g) | 広島菜漬              |
| 熟成鶏の照焼<br>(広島県産鶏肉使用)          | もぐり赤司                                | タコのお好み焼風<br>キャッシュ |
| カツアレ<br>じゃこお浸し<br>(広島県産じゃこ使用) |                                      |                   |
| 特辛薬                           | カキフライ                                | 赤しそご飯             |

学生のアイデアをもとに  
広島大学ゆかりの食材を贅沢に詰め合わせました

●クロダイのムニエル（パプリカソース）  
全国で約1割の漁獲量を持つ広島県産のクロダイ。広島県では「ムニエル」と呼ばれています。広島大学の水産増殖学研究室「うみの研」は、地元の水産資源をより豊かにするため、国内唯一のクロダイ研究を行っています。

●カツアレじゃこお浸し  
広島大学と熊川上重蔵が共同開発した「マルサヒタミン魚、かいわれ」を、じゃこ（広島県豊後市産）と一緒にお浸しにしました。野菜や果物には全く含まれない、赤い色素の形成に必要な栄養素「ビタミンB12」をまんこしています。

●タコのお好み焼風キャッシュ  
広島県産のタコ、手巻の卵、キャッシュ、オクラ、オクラソースでお浸しにしました。広島大学とオクラファームは、産学連携を通して食品分野に関する包括的研究に取り組んでいます。

●赤しそご飯（三島食品の赤しそふりかけ「ゆかり」使用）  
広島大学と三島食品は、「赤しそ」の研究を20年以上取り組んでいます。「赤しそ」の可能性と新しい価値創造をこれからも研究していきます。

## <チラシ（裏）>

— 100年後にも世界で光り輝く大学へ —

広島大学は、1874年創立の白鳥学校を継承し、多くの前身校を継承して1949年に創設されました。2024年は広島大学の創立75周年であり、その歴史である75年も加えると180周年という節目の年を迎えました。この節目の年を契機とし、広島大学は新たな発展を遂げます。

|                |                             |                |                          |                 |      |
|----------------|-----------------------------|----------------|--------------------------|-----------------|------|
| 1874<br>白鳥学校設立 | 1949<br>新制国立大学として<br>広島大学創設 | 1995<br>総合移転完了 | 2004<br>国立大学法人<br>広島大学発足 | 2024<br>75+75周年 | 2025 |
|----------------|-----------------------------|----------------|--------------------------|-----------------|------|

■ 広島大学 学章



平和の色「緑色」を配し、清純な生命とフィニックスの翼を象徴化したものです。エンブレム周囲に広がる「緑色」は、エンブレムを包み込むように、自分自身の生命を、反の中心から新たな生命をもって蘇るといわれる平氏であることになぞらえ、唐子（唐子）で構成された広島市に響かせるように生まれた広島大学を象徴しています。

■ 広島大学の取組

2023年度文部科学省  
「高度画像人材養成拠点形成事業  
—タイプA」10大学の1つに採択



広島大学と東広島市が共に発展する  
地方創生モデル「Town&Gown  
構想」を広島発全国展開へ



情報科学部定員  
80名から150名に増



## 【お問い合わせ先】

基金室  
畑尾

TEL:082-424-6132 FAX:082-424-6179

令和 7 年 8 月 26 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業  
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 研究の責任と社会的調和を考える ELSI/RRI および若手研究者を支援するワンストップ窓口を開設しました

J-PEAKS では、産官学金が連携し、社会のニーズに沿った研究を推進することが期待されていますが、大学の研究成果を社会に還元するためには、利用者が不利益を被ることがないように、研究者をはじめとする関係者は研究倫理や法を遵守することが求められます。大学と社会との関係性が緊密になる中で、「倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)」や「責任ある研究とイノベーション(RRI: Responsible Research and Innovation)」と呼ばれる取組が重要性を増しており、これらの課題に直面する研究者は少なくありません。

このような状況を背景として、本学では学内研究者を対象とした「ELSI/RRI・若手研究者支援ワンストップ窓口」を、全学的な研究支援の推進窓口となる共創科学基盤センター内に開設しました。

本窓口は、ELSI や RRI に関する相談を受け付け、研究の開始段階から、研究責任と社会的調和に配慮した信頼性の高い研究成果の社会還元をめざします。また、特に若手研究者を対象に、研究支援に関する全般的な相談を受け付け、ワンストップでの応答体制を確立することをめざしています。



共創科学基盤センターロゴ

## (2) 日本核酸医薬学会第 10 回年会にブース出展しました

2025 年 7 月 1 日～3 日に神戸国際展示場 2 号館で開催された日本核酸医薬学会第 10 回年会にブース出展を行い、J-PEAKS 事業および創薬拠点である PSI GMP 教育研究センターの取り組みを紹介しました。

ブース出展期間を通じて、企業・大学 33 機関から総勢 42 名の来訪があり、多くの参加者に J-PEAKS の取組を紹介することができました。



### 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています。

### 【お問い合わせ先】

学術・社会連携室  
未来共創科学研究本部  
研究戦略部 研究戦略グループ 前田  
TEL:082-424-5656  
Mail: [gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp)



令和 7 年 8 月 26 日

広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター共催  
国際シンポジウム開催について（9/16 開催）

CO<sub>2</sub> 増加に対する海洋生態系の応答を研究する国際拠点 ICONA（International CO<sub>2</sub> & Natural Analogue network）と広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センターが共催するシンポジウム”Synthesizing ICONA activity and Future Directions for Climate Change”（「気候変動に対する ICONA の活動と将来構想」）を下記のとおり開催いたします。

人為起源 CO<sub>2</sub> の増加は、地球温暖化だけでなく海洋酸性化や海洋貧酸素化といった地球規模の環境変動を引き起すため、その影響を予測して対策を講じることが喫緊の課題です。自然に生じた高 CO<sub>2</sub> 水域（火山性 CO<sub>2</sub> ガスの噴出海域等）を相互に利用する国際ネットワーク（ICONA）ではこれまでに、日本・イタリア・ニューカレドニア・パラオ・パプアニューギニアなどで発見された多様な高 CO<sub>2</sub> 海域で国際合同調査を行い、海藻・サンゴ・魚・無脊椎動物・微生物など多岐にわたる生物群の調査を基に生態系の将来予測を行ってきました。これらの成果は、世界的にも高く評価され、国連海洋科学の 10 年（2021-2030 年：UN Ocean Decade）の Decade Action に認められ、2030 年为目标とする SDGs の達成に貢献することが期待されています。

シンポジウムでは、日本、イタリア、フランス、イギリスなど、ICONA に属する各国の研究者らが集結し、これまでの 5 年間の成果を総括するとともに、2030 年までの道筋を議論するための機会を提供します。

日時：2025 年 9 月 16 日（火）13:00-17:30

会場：広島大学フェニックス国際センター ミライクリエ大会議室

内容：「気候変動に対する ICONA の活動と将来構想」

プログラム：

13:00-13:05 Opening Remarks

13:05-13:45 講演 1

Prof. Jason Hall-Spencer：イギリス・プリマス大学

13:45-14:25 講演 2

Dr. Sylvain Agostini：フランス（ニューカレドニア）・  
Institut de Recherche pour le Développement

14:25-15:05 講演 3

Dr. Davide Spatafora：イタリア・Stazione Zoologica  
Anton Dohrn

15:05-15:10 Break  
15:10-15:55 講演 4  
Prof. Shigeki Wada：日本・広島大学  
15:55-16:40 講演 5  
Dr. Michael Izumiyama：日本・琉球大学  
16:40-17:25 講演 6  
Prof. Marco Milazzo：イタリア・パレルモ大学  
17:25-17:30 Closing Remarks

使用言語：英語

<取材について>

メディアの方は、すべてのプログラムについて、傍聴、撮影、および講師・参加者へのインタビューが可能です。また、取材当日は広島大学の責任者（瀬戸内 CN 国際共同研究センター：和田茂樹教授）へのインタビューが可能です。当日、受付にてお尋ねください。

【お問い合わせ先】

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| 広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター<br>教育研究補助職員 上野 恭子<br>TEL:082-424-4540 |
|-------------------------------------------------------------|



令和 7 年 8 月 26 日

広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター共催  
国際シンポジウム開催について（9/16 開催）

CO<sub>2</sub> 増加に対する海洋生態系の応答を研究する国際拠点 ICONA（International CO<sub>2</sub> & Natural Analogue network）と広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センターが共催するシンポジウム”Synthesizing ICONA activity and Future Directions for Climate Change”（「気候変動に対する ICONA の活動と将来構想」）を下記のとおり開催いたします。

人為起源 CO<sub>2</sub> の増加は、地球温暖化だけでなく海洋酸性化や海洋貧酸素化といった地球規模の環境変動を引き起すため、その影響を予測して対策を講じることが喫緊の課題です。自然に生じた高 CO<sub>2</sub> 水域（火山性 CO<sub>2</sub> ガスの噴出海域等）を相互に利用する国際ネットワーク（ICONA）ではこれまでに、日本・イタリア・ニューカレドニア・パラオ・パプアニューギニアなどで発見された多様な高 CO<sub>2</sub> 海域で国際合同調査を行い、海藻・サンゴ・魚・無脊椎動物・微生物など多岐にわたる生物群の調査を基に生態系の将来予測を行ってきました。これらの成果は、世界的にも高く評価され、国連海洋科学の 10 年（2021-2030 年：UN Ocean Decade）の Decade Action に認められ、2030 年为目标とする SDGs の達成に貢献することが期待されています。

シンポジウムでは、日本、イタリア、フランス、イギリスなど、ICONA に属する各国の研究者らが集結し、これまでの 5 年間の成果を総括するとともに、2030 年までの道筋を議論するための機会を提供します。

日時：2025 年 9 月 16 日（火）13:00-17:30

会場：広島大学フェニックス国際センター ミライクリエ大会議室

内容：「気候変動に対する ICONA の活動と将来構想」

プログラム：

13:00-13:05 Opening Remarks

13:05-13:45 講演 1

Prof. Jason Hall-Spencer：イギリス・プリマス大学

13:45-14:25 講演 2

Dr. Sylvain Agostini：フランス（ニューカレドニア）・  
Institut de Recherche pour le Développement

14:25-15:05 講演 3

Dr. Davide Spatafora：イタリア・Stazione Zoologica  
Anton Dohrn

15:05-15:10 Break  
15:10-15:55 講演 4  
Prof. Shigeki Wada : 日本・広島大学  
15:55-16:40 講演 5  
Dr. Michael Izumiyama : 日本・琉球大学  
16:40-17:25 講演 6  
Prof. Marco Milazzo : イタリア・パレルモ大学  
17:25-17:30 Closing Remarks

使用言語：英語

<取材について>

メディアの方は、すべてのプログラムについて、傍聴、撮影、および講師・参加者へのインタビューが可能です。また、取材当日は広島大学の責任者（瀬戸内 CN 国際共同研究センター：和田茂樹教授）へのインタビューが可能です。当日、受付にてお尋ねください。

【お問い合わせ先】

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| 広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター<br>教育研究補助職員 上野 恭子<br>TEL:082-424-4540 |
|-------------------------------------------------------------|



2025 ICONA & 瀬戸内CNセンター共催シンポジウム



# 気候変動に対するICONAの活動と 将来構想

2025年9月16日 午後1時～5時半

場所：広島大学ミライクリエ2階大会議室

海洋酸性化の疑似生態系の紹介と  
サンゴ藻類の重要性

サンゴに対する気候変動と海洋酸性化  
の影響：自然の実験室からわかること



**Jason Hall-Spencer**

Professor, Plymouth  
University, UK  
School of Biological  
and Marine Sciences



**Sylvain Agostini**

Researcher, Institut  
de Recherche pour  
le Développement,  
New Caledonia  
UMR Entropie

イタリアのCO<sub>2</sub>噴出海域における  
調査

日本近海のCO<sub>2</sub>シープ：CO<sub>2</sub>に対す  
る応答の生態系間の差



**Davide Spatafora**

Researcher,  
Stazione Zoologica  
Anton Dohrn, Italy  
Integrative Marine  
Ecology Department



**Shigeki Wada**

Professor, Hiroshima  
University, Japan  
Seto Inland Sea CN  
Research Center

CO<sub>2</sub>シープから見える海洋酸性化に  
対する魚類のゲノム応答

気候変動が迫る中で必要となる浅  
海域海底噴出域の保全



**Michael Izumiyama**

Researcher, Ryukyus  
University, Japan  
Faculty of Science

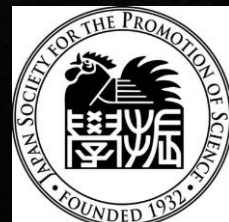
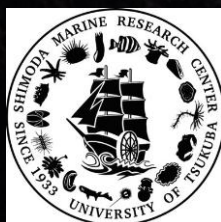


**Marco Milazzo**

Professor, University  
of Palermo, Italy  
Department of Earth  
and Marine Science



参加費は無料です。  
QRのコードでご登録  
ください







## 第 182 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 3

令和 7 年 8 月 26 日

### 学生が工学部の広報活動を行う 「工学部学生広報ディレクター」が活動を開始

「工学部学生広報ディレクター」は、工学部の学生が主体となり SNS (Instagram) を活用し、工学部の魅力や学生生活の実態を等身大の言葉で発信していくことを目的として今年度発足しました。

当該事業により、高校生への認知度を向上させることで、進学先として本学部への関心を高めることを目指しています。

また、工学部学生広報ディレクターの学生は、Instagram を運営していく上で、企画・立案、取材・撮影、デザイン・編集、発信力、分析からチーム運営といった実践的な力を学んでいきます。

当該事業は単なる SNS の運用にとどまらず、学生が自分の所属する学部の広報マンとして活動を行いながら、学部が持つ魅力や可能性を、未来の受験生へと繋げていくための“新しい広報のかたち”であり、広報人材の育成教育として大きな意義をもちます。

今後、高校生より「ちょっと先輩」な工学部学生による「リアル」な声を高校生やその保護者に届けていきます。

#### <工学部学生広報ディレクターについて>

- ・発足：2025 年
- ・今年度の活動人数  
→ 3 人（男性 2 人、女性 1 人。第一類 4 年（男性）、第三類 3 年（男性）、第四類 2 年（女性））
- ・活動内容：工学部の魅力や学生生活の実態を等身大の言葉で発信
- ・募集方法：工学部の学生が夏季休業中に母校の高校を訪問し広報活動を行う「キャンパスサポーター」事業に応募した学生から募集を行い 4 人が立候補した。その中から学部長が面談し最終的に 3 人を選出した。
- ・経緯：今年度早々に学部長が座長を務める入学志願倍率向上策検討プロジェクトを立ち上げた。当該プロジェクトの中で、SNS による発信を行うことや、高校生にはショート動画が好まれる等の意見が出たことから、Instagram を開設することになった。  
Instagram 開設にあたり、外部講師に相談したところ、高校生には大学生のリアルな声に興味を持たれることから、工学部学生による Instagram の運営を開始することになった。



外部講師による研修会の様子

【お問い合わせ先】

【お問い合わせ先】工学系総括支援室

総務担当 坂本

TEL:082-424-7505 FAX:082-422-7039



令和7年8月26日

9月13日（土）を「週末開放日」とし、  
両生類研究センター常設展示スペースを開放します

両生類研究センターでは平日月曜から金曜までの9～17時に1階展示スペースを一般開放し、飼育している両生類の展示（冬季除く）や貴重な標本類などの展示を行っています。

この平日の常設展示に加え、週末の休日にも一般の方に来ていただける「週末開放日」という日を、今年度は6回設けています。

「週末開放日」では、平日の常設展示をそのまま休日に行うだけではなく、センター所属教員などのスタッフを特別に配置して来訪者の方の質問にお答えできるようにしています。また、空調の効いたセミナー室を特別に休憩室として利用していただいています。スタッフと両生類たちが、たくさんの方のご来場を楽しみにお待ちしております！



日時：2025年9月13日（土）13：00～15：00

場所：広島大学両生類研究センター

（<https://amphibian.hiroshima-u.ac.jp/トップ>  
ページ上の「アクセス」をご参照ください。）

予約：不要

料金：無料



今年度の週末開放日は5/31（土）、6/28（土）、

7/26（土）、9/13（土）、10/4（土）、11/1（土）です。

10/4は学生企画の公開講座&ワークショップ、11/1は本学ホームカミングデー企画を同時開催します。

【お問い合わせ先】

両生類研究センター

事務室 濱本 由美子

TEL:082-424-7328

FAX:082-424-0739



令和 7 年 8 月 26 日

**第 80 回日本物理学会年次大会（2025 年）****市民科学講演会の開催について**

日本物理学会および広島大学は、物理学の魅力を広く一般の方々に伝えることを目的として、下記のとおり「市民科学講演会」を開催いたします。

当日は、第一線で活躍する研究者による講演に加え、高校生によるポスター発表イベントや広島大学の学生、院生による研究発表などを行う「くらしのサイエンス交流会」も併催されます。

物理や科学に関心をお持ちの市民の皆様、特に若い世代の参加を心よりお待ちしております。

## 記

## ■ 開催概要

- 日 時：2025 年 9 月 21 日（日）13:00～17:00  
場 所：広島国際会議場 ヒマワリ（広島市中区中島町 1-5）  
対 象：一般の方  
※物理好きな高校生、小中学生も歓迎  
※ポスター発表への応募は広島県内の高校生に限ります  
参 加 費：無料（要事前申込）  
定 員：300 人（先着順）

## ■ プログラム内容

## ● 市民科学講演会（13:00-15:00）

宇宙から生命までを科学する～科学がもっと身近になる 1 日～

- ・東北大学大学院理学研究科教授 市川温子氏  
「ニュートリノで垣間見る誕生 1 ピコ秒後の宇宙」
- ・山形大学理学部教授 衛藤 稔氏  
「トポロジカルソリトンで捉える自然現象の「かたち」  
～素粒子、宇宙、そしてプランクトンまで～

## ● くらしのサイエンス交流会（15:00-17:00）

高校生によるポスター発表  
広島大学学生、院生による研究発表  
広島大学の研究施設紹介・展示・演示実験

■ 主催・後援・運営

主 催：日本物理学会、広島大学

後 援：広島大学 持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点  
(WPI-SKCM<sup>2</sup>)

企画・運営：日本物理学会 第 80 回年次大会（2025 年）実行委員会

<取材について>

メディアの方は全てのプログラムについて、傍聴、撮影、および講師・参加者へのインタビューが可能です。

【お問い合わせ先】

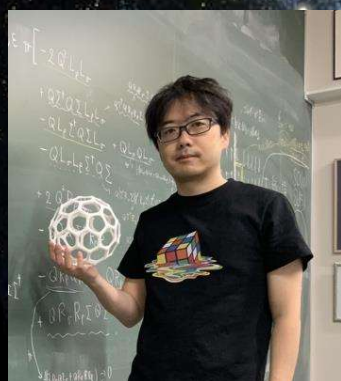
広島大学持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点 事務室

TEL：082-424-8074

E-mail：chiral-secretary@office.hiroshima-u.ac.jp

市民科学講演会  
日本物理学会第80回年次大会（2025年）

# 宇宙から生命までを科学する ～科学がもっと身近になる1日～



13:00-14:00

ニュートリノで垣間見る誕生1ピコ秒後の宇宙  
市川 温子 東北大学 大学院理学研究科 教授



14:00-15:00

トポロジカルソリトンで捉える自然現象の「かたち」  
～素粒子、宇宙、そしてプランクトンまで～  
衛藤 稔 山形大学 理学部 教授

15:00-17:00

## くらしのサイエンス交流会

広島県内高校生によるポスター発表  
広島大学大学生・院生による研究発表  
広島大学の研究施設紹介・展示・演示実験

日時

2025年 **9月21日** (日) **13:00-17:00**

会場

広島国際会議場・ヒマワリ

〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5

高校生ポスター発表、  
聴講の申込はこちらから

<https://forms.gle/7KFdpL7zZ9niYxEx9>

参加費  
無料



主催



広島大学



一般社団法人 日本物理学会

後援



広島大学・持続可能性に寄与  
するキラルノット超物質拠点



SKCM<sup>2</sup>  
WPI HIROSHIMA UNIVERSITY